

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	高齢者生活支援事業	コード	63101
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 介護福祉課	作成者 宮坂 文彦
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	福祉の充実	施策	高齢者福祉の推進
		予算科目	高齢者生活支援事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令			

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	ひとり暮らしや虚弱のため支援を必要とする高齢者等に対して、少しでも住み慣れた地域での在宅生活を送れるように支援するため、多様なサービスを提供する。	
目的	対象者	高齢者
	意図	高齢者生活における生きがいを支え、元気高齢者の増進を図ると共に地域での繋がりを広げる。

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
○敬老祝賀事業 （1）88歳、99歳及び105歳の高齢者に対して、敬意を表し敬老祝金を贈呈した。 ・88歳（3,000円） 344人 ・99歳（10,000円） 25人 ・105歳（20,000円） 2人 （2）男女の最高齢者に祝品（カタログギフト）を贈呈した。 （3）100歳到達者の代表として1名（男性）を市長が慶賀訪問した。		
○高齢者クラブ連合会補助金 高齢者クラブ連合会の事業活動に対して助成を行った。		
○地区高齢者クラブ補助金 地区単位で行われている高齢者クラブの活動に対して助成を行った。 ・単位クラブ数：18クラブ ・会員数：1,176人（平成31年3月31日現在）		
○高齢者に就業の機会を提供する等、生きがいの創出と社会参加の機会拡大を図るため、岡谷下諏訪広域シルバー人材センターに対して助成を行った。		
前年度の課題への対応	岡谷市高齢者クラブ連合会だよりを創刊し、単位高齢者クラブの活動等の紹介・入会の周知啓発を実施した。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	高齢者クラブ数			単位	クラブ
実績値	20	19	18		
*指標の説明	高齢者クラブの単位クラブ数				
② 成果指標（指標名）	高齢者クラブ会員数			単位	人
目標値	1,500	1,500	1,400	1,300	
実績値	1,406	1,288	1,176		
達成度	93.7%	85.9%	84.0%		
*指標の説明	高齢者クラブ会員数				
*目標値の設定方法の説明	高齢者クラブ会員数 過去3年間の平均値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	24,194,003	17,163,413	15,949,394	16,296,000
経常経費	24,194,003	17,163,413	15,949,394	16,296,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	32,194,003	25,163,413	23,949,394	24,296,000
前年度比		78.2%	95.2%	101.4%
財源	27,588,003	19,796,413	18,624,394	18,940,000
一般財源				
内訳	4,606,000	5,367,000	5,325,000	5,356,000
特定財源				
* 特定財源の説明	シルバー人材センター補助金のうち下諏訪町負担分、老人クラブ事業費県補助金			
④ 活動一単位あたりコスト	1,609,700	1,324,390	1,330,522	
前年度比		82.3%	100.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
長野県シルバー人材センター連合会賛助会費	件数	1	1	1	1
	金額	17,000	17,000	18,000	18,000
岡谷下諏訪広域シルバー人材センター補助金	件数	1	1	1	1
	金額	11,171,000	13,411,000	13,411,000	13,509,000
高齢者クラブ連合会事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,120,000	986,000	924,000	924,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	12,308,000	14,414,000	14,353,000	14,451,000
	割合	50.87%	83.98%	89.99%	88.68%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 91.3%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 84.0%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 高齢者クラブの会員数が減少傾向、また活動を休止している地区がある。
改善 方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 各地区の活動内容等の周知及び会員確保に向けた普及啓発を図る。

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---